

No. 538
2016年
5月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 2016年度支部紹介

* 各支部の詳細は学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/organization.html> をご覧ください。

・北海道支部

支 部 長：山本雅人（北海道大学）
支部事務局：西川孝二（北海道科学大学）

・東北支部

支 部 長：中山 明（福島大学）
支部事務局：鈴木賢一（東北大学）

・中部支部

支 部 長：奥田隆史（愛知県立大学）
支部事務局：(株)シグマフィールド

・関西支部

支 部 長：岳 五一（甲南大学）
支部事務局：小出 武（甲南大学）

・中国・四国支部

支 部 長：土肥 正（広島大学）
支部事務局：岡村寛之（広島大学）
齋藤靖洋（海上保安大学校）

・九州支部

支 部 長：川崎英文（九州大学）
支部事務局：来嶋秀治（九州大学）

● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2016年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

* 「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

* 詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>

をご覧ください。

● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

日 程：2016年9月14日（水）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）

実行委員長：中山 明（福島大学）

● 2016年秋季研究発表会

日 程：2016年9月15日（木）、16日（金）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）

実行委員長：古藤 浩（東北芸術工科大学）

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第262回

日 時：2016年5月21日（土）14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館（W）809号室

テーマと講師：

(1) 「拡張かんぱん方式によるプル型生産システムの

性能評価法」

井家 敦 (神奈川工科大学)

- (2) 「セルラネットワークの空間確率モデルにおける
信号対干渉比分布の裾漸近特性について」
三好直人 (東京工業大学)

問合せ先: 神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

〔信頼性〕

部会URL: [http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/
socialactivity/](http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/)

・第12回

日 時: 2016年5月27日 (金) 15:00~17:00

場 所: 金城学院大学 栄サテライトキャンパス
(名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル4階,
セントラルパーク地下街10A出口前)

テーマと講師:

「ショックモデル・多状態システム・今考えていること」
大鑄史男 (名古屋工業大学大学院)

ショックモデルは、各種のエージングや依存性が如何にして自然に創発するかを議論する際の基本的なモデルである。また多状態システムは、従来の素朴な二状態の概念をより現実的に拡張したものであり、様々な場面での信頼性評価に応用されていると共に状態概念によるマルコフ決定過程を用いた取り替え・保全の議論においては基盤を成す。

本講演では、ショックモデルから始まるこれまでは振り返りながら、信頼性理論における基本的な概念と共に多状態システムに関する最新の議論までを紹介する。そのうえで、セルオートマトン、フラクタル、複雑ネットワークなどを絡めながらこれからの信頼性・保全性の問題を展望する。

問合せ先: 首都大学東京 肖 霄 (シャオシャオ)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

● 新宿 OR 研究会

〔第358回〕

日 時: 2016年5月17日 (火) 12:00~14:00

場 所: OR学会事務局会議室 (東京都千代田区岩本
町1-13-5 サン・チカビル7F)

*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

講 師: 落合康文氏 (小田急電鉄(株)交通サービス事

業本部)

テーマ: 「列車運行シミュレーションによる定時性向上
施策の検討」

参加費: 3,000円 (昼食代を含みます。事前にメール
にてお申込みください。)

問合せ先: 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・第46回信頼性・安全性シンポジウム

日 時: 2016年7月14日 (木)~15日 (金)

場 所: 日本教育会館 (千代田区一ツ橋)

主 催: 日本科学技術連盟

参加費: 日科技連賛助会員価格とする。

WEB: [https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/
page/46rms](https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/46rms)

・第32回ファジィシステムシンポジウム

日 時: 2016年8月31日 (水)~9月2日 (金)

場 所: 東海大学熊本キャンパス

主 催: 日本知能情報ファジィ学会

参加費: 日本知能情報ファジィ学会会員価格に準ずる。

WEB: <http://www.j-soft.org/info-society/5183/>

・第18回日本感性工学会大会

日 時: 2016年9月9日 (金)~11日 (日)

場 所: 日本女子大学目白キャンパス

主 催: 日本感性工学会

参加費: 日本感性工学会会員価格に準ずる。

WEB: <http://www.jske.org/taikai/jske18/>

● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・国立大学法人 群馬大学社会情報学部 (統計解析)
学部: 社会情報学部社会情報学講座

仕事内容：学部および大学院における教育業務，研究業務，社会貢献業務，学部運営業務

担当予定科目：学部のデータ解析基礎（統計学），データ解析（応用統計学），研究方法基礎論，研究方法（サーベイ・アンケート研究法）のほか，教養教育科目（原則として専門に関して1科目），大学院の応用データ解析関連科目を担当していただきます。また，学部の社会情報学ゼミ，卒業研究，大学院の特別研究（研究指導）も担当していただきます。

機関の説明：学部では，ビッグデータの時代にふさわしいデータ解析の力を学生に身につけさせるために「データ解析プログラム」を提供します。本公募では，このプログラムの基礎となる統計解析および統計科学，統計学に関連する科目を担当できる方を募集します。大学院では応用データ解析に関する研究指導ができる方を望みます。なお，社会学および経済学，経営学，情報学，理学，工学等の研究分野は問いません。

募集人員：教授，准教授または講師 1名

勤務地：群馬県前橋市荒牧町4-2

着任時期：平成28年10月1日（早期着任相談可）

研究内容：データ解析，統計科学

勤務形態：常勤（任期あり）任期5年

応募資格：(1) 博士の学位を有する者またはこれに準ずる者，(2) 学部および大学院の講義，演習および研究指導を担当できる者

待遇：国立大学法人群馬大学教職員就業規則による。

募集期間：平成28年5月13日（金）まで（当日消印有効）

提出書類：(1) 履歴書，(2) 研究業績目録，(3) 外部資金の獲得状況，(4) 過去5年間における論文または著書の現物または別刷り（コピー可）3点，(5) 社会情報学部および社会情報学研究科における教育・研究方針の概要，(6) 可能ならば，応募者について照会できる2名の方の氏名と連絡先

書類送付先：〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学社会情報学部長宛。封筒の表に「教員公募（統計解析）」と朱書。

連絡先：群馬大学社会情報学部総務係

TEL: 027-220-7403 FAX: 027-220-7405

E-mail: kk-shajyou1@jimu.gunma-u.ac.jp

*公募URL：https://www.si.gunma-u.ac.jp/public/

・情報・システム研究機構国立情報学研究所研究教育職員

公募職名・人員：准教授または助教あわせて若干名（*教授としての採用を考慮する場合があります。）

採用時期：原則として平成29年4月1日

任期：任期は5年間。

勤務条件等：情報・システム研究機構職員就業規則等が適用されます。

研究開発分野：(1) 情報学プリンシプル研究分野，(2) アーキテクチャ科学研究分野，(3) コンテンツ科学研究分野，(4) 情報社会相関研究分野

応募資格：原則として博士の学位取得または取得見込みの者

応募書類：(1) 履歴書，(2) 研究・開発業績，論文，著書を公表年順に記載し，主要業績3編について，別刷（コピー可）各3部を添付，(3) 学会における活動状況，(4) 職域における活動状況，(5) 社会における活動状況，(6) 推薦書／照会先，(7) 就任後の抱負

応募期限：平成28年6月30日（木）【必着】

選考方法：書類審査および面接

問合せ先：

(1) 応募書類，身分等について

情報・システム研究機構国立情報学研究所総務部総務課人事チーム

TEL: 03-4212-2025~2026 FAX: 03-4212-2035

E-mail: koubo@nii.ac.jp

(2) 研究内容について

情報・システム研究機構国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系・教授佐藤一郎

TEL: 03-4212-2546 E-mail: koubo@nii.ac.jp

書類の提出先：〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2「情報・システム研究機構国立情報学研究所長」宛 *必ず郵送のこと。

*公募URL：http://www.nii.ac.jp/about/recruit/

2016年度第1回 ORセミナー

『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

開催趣旨: ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？ 正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

日時: 2016年6月4日(土) 10:25~18:00 (10:00開場)
会場: (株)構造計画研究所 本所新館 (地下1階レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
 丸ノ内線「新中野駅」1番, 2番出口から徒歩1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: 東京ガス(株)片瀬成識 (OR学会研究普及委員)

定員: 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:25~10:30 開会挨拶

10:30~11:25, 11:40~12:30, 13:40~14:30 「解析例で見る統計的モデリングのプロセス」

講師: 東京工業大学大学院情報理工学 野村俊一

概要: 統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生み出される確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

14:45~15:40, 15:55~16:45, 17:00~17:50 「因果分析と要因探索のための多変量解析法」

講師: 慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科 渡辺美智子

概要: 統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

17:50~18:00 閉会挨拶・アンケート記入

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

※ORセミナー参加者特典…正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入して、メールにて日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお申し込みください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込締切: 2016年5月27日(金) OR学会WEB www.orsj.or.jp/activity/seminar.html をご参照ください。

振込先: みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

備考: このセミナーには2015年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

● 新入会員 (2016年4月理事会承認分)

—賛助会員B種—

(株)近代科学社

—正会員—

片岡 隆之 近畿大学〔中国・四国支部〕
 高橋 久尚 成蹊大学
 藤田 慎之輔 東京工業大学
 川本 雅之 筑波大学
 高原 勇 筑波大学
 二宮 仁志 高知大学医学部附属病院〔中国・四国支部〕
 山田 光 スプリント・キャピタル・ジャパン(株)
 橋爪 美智 村田機械(株)〔関西支部〕
 新里 隆 一橋大学
 中村 幸一郎 長岡技術科学大学〔東北支部〕

—学生会員—

佐々木 優 東海大学
 弓本 高志 北海道大学〔北海道支部〕
 澁谷 友祐 東海大学
 栃内 寛子 北海道大学〔北海道支部〕
 湊 信乃介 筑波大学

菅原 光太郎 東京工業大学
 熊谷 拓実 北海道大学〔北海道支部〕
 黒木 祐子 東京工業大学
 後田多 太一 電気通信大学
 木谷 裕紀 九州大学〔九州支部〕
 椎名 香奈 慶應義塾大学
 中西 克彦 北海道大学〔北海道支部〕
 中澤 百合恵 慶應義塾大学
 中澤 友哉 静岡大学〔中部支部〕
 山田 貴久 東海大学
 櫻井 良樹 慶應義塾大学
 五十嵐 悠 筑波大学
 服部 晃大 南山大学〔中部支部〕
 五上 裕士 南山大学〔中部支部〕
 濱口 由子 長崎大学〔九州支部〕
 増田 暁 東京理科大学
 田村 悠 東京理科大学
 可児 丈輝 岐阜大学〔中部支部〕
 三島 百合絵 慶應義塾大学
 澤井 佑樹 名古屋大学〔中部支部〕
 水野 竜太郎 名古屋大学〔中部支部〕

* 支部表記のない方は本部所属です。

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円、
学生会員5,000円、
シニア会員7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。

*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2016年1月20日に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきました。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

OR学会創立記念日のお知らせ

5月23日（月）

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 5月以降に「学生証PDF送付依頼」のメールを送ります。返信をよろしくお願いいたします。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。